



朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成をめざします。

<http://www.asahi-u.ac.jp/>

行
行
發
發
月
集
編
朝
企
日
大
學
課



宮田 侑 理事長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2008年は国内外ともに激動の年でありました。わが国における2年連続の首相突然辞任劇、米国における初の黒人大統領登場（正式には今年1月就任）など、政治的激震が走り、また、米国のサブプライムローン問題に端を発した経済金融の「負の連鎖」が世界を震撼を覆う大不況は今もその回復の兆しが見えています。

このような状況下、わが国高等教育界では、「学士

宮田侑理事長が恒例の年頭所感を発表した。本学の「建学の精神」に基づいた人材を育成することこそが、中央教育審議会の答申（2008年12月24日）にある「学士力」達成につながるものであることを強調した。

建学の精神に基づく人材育成

理事長年頭所感

力」という言葉がクローズアップされました。大学が4年ないし6年かけて世に送り出す卒業生が、果たして社会が求めている「学士力」を本当に達成しているかどうかが問われたのです。

学士として身につけるべき学力を具備させるため、各大学に厳格な成績評価システムの導入や教員の教育力の向上が厳しく求められています。

文部科学省の指導は当然のことであり、むしろ遅すぎたともいえます。本学では既に2年前から、成績評価を厳格に行うこととともに、教員の教育力強化のためにFD活動を強力に推進し、同時に教育を支える職員の能力向上のため、SD活動にも力を入れています。

また、「学士力」の達成のためには、教える側の改革のみならず、学生自らの学習意欲の向上もまた、大

変重要なことであると考えています。そのため、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いていま

す。このことによって、学生達の将来の目標に合わせた科目選択を行う力が養われていきます。また、2年

れています。

2008年度の「岐阜県民栄賞」表彰式が、2008年12月17日（水）に岐阜市の県民ふれあい会館で行われ、本学体育会から3団体が栄えある県民栄賞を受賞した。

「岐阜県民栄賞」は、

芸術やスポーツ、産業の分野で国内、世界トップレベルの活躍をした団体や個人に贈られる賞で、本学では過去数度の全国優勝を成し遂げている体育会フェンシング部を筆頭にこの栄誉賞

を毎年受賞している。

今回の受賞は、「第58回

全日本学生フェンシング王

を学んだことがあります。それに匹敵するほど去年は世界中

の景気が落ち込んだ。わ

うに本学学生自身が「自學自習」能力を向上させることとして、「学士力」達成の不可欠要件と考えています。

本学の建学の精神は、「国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして人類普遍的人間的知性に富む人材を育成」することにあります。そのために、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いています。このことによって、学生達の将来の目標に合わせた科目選択を行う力が養われていきます。また、2年

れています。

2008年度の「岐阜県民栄賞」表彰式が、2008年12月17日（水）に岐阜市の県民ふれあい会館で行われ、本学体育会から3団体が栄えある県民栄賞を受賞した。

「岐阜県民栄賞」は、

芸術やスポーツ、産業の分

野で国内、世界トップレベ

ルの活躍をした団体や個人に贈られる賞で、本学では過去数度の全国優勝を成し遂げている体育会フェンシング部を筆頭にこの栄誉賞

を毎年受賞している。

今回の受賞は、「第58回

全日本学生フェンシング王

を学んだことがあります。それに匹敵するほど去年は世界中

の景気が落ち込んだ。わ

うに本学学生自身が「自學自習」能力を向上させることとして、「学士力」達成の不可欠要件と考えています。

本学の建学の精神は、「国

際未来社会を切り開く社会

性と創造性、そして人類普

遍の人間的知性に富む人材

を育成」することにあります。そのため、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いています。このことによって、学生達の将来の目標に合わせた科目選択を行う力が養われていきます。また、2年

れています。

2008年度の「岐阜県民栄賞」表彰式が、2008年12月17日（水）に岐阜市の県民ふれあい会館で行われ、本学体育会から3団体が栄えある県民栄賞を受賞した。

「岐阜県民栄賞」は、

芸術やスポーツ、産業の分

野で国内、世界トップレベ

ルの活躍をした団体や個人に贈られる賞で、本学では過去数度の全国優勝を成し遂げている体育会フェンシング部を筆頭にこの栄誉賞

を毎年受賞している。

今回の受賞は、「第58回

全日本学生フェンシング王

を学んだことがあります。それに匹敵するほど去年は世界中

の景気が落ち込んだ。わ

うに本学学生自身が「自學自習」能力を向上させることとして、「学士力」達成の不可欠要件と考えています。

本学の建学の精神は、「国

際未来社会を切り開く社会

性と創造性、そして人類普

遍の人間的知性に富む人材

を育成」することにあります。そのため、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いています。このことによって、学生達の将来の目標に合わせた科目選択を行う力が養われていきます。また、2年

れています。

2008年度の「岐阜県民栄賞」表彰式が、2008年12月17日（水）に岐阜市の県民ふれあい会館で行われ、本学体育会から3団体が栄えある県民栄賞を受賞した。

「岐阜県民栄賞」は、

芸術やスポーツ、産業の分

野で国内、世界トップレベ

ルの活躍をした団体や個人に贈られる賞で、本学では過去数度の全国優勝を成し遂げている体育会フェンシング部を筆頭にこの栄誉賞

を毎年受賞している。

今回の受賞は、「第58回

全日本学生フェンシング王

を学んだことがあります。それに匹敵するほど去年は世界中

の景気が落ち込んだ。わ

うに本学学生自身が「自學自習」能力を向上させることとして、「学士力」達成の不可欠要件と考えています。

本学の建学の精神は、「国

際未来社会を切り開く社会

性と創造性、そして人類普

遍の人間的知性に富む人材

を育成」することにあります。そのため、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いています。このことによって、学生達の将来の目標に合わせた科目選択を行う力が養われていきます。また、2年

れています。

2008年度の「岐阜県民栄賞」表彰式が、2008年12月17日（水）に岐阜市の県民ふれあい会館で行われ、本学体育会から3団体が栄えある県民栄賞を受賞した。

「岐阜県民栄賞」は、

芸術やスポーツ、産業の分

野で国内、世界トップレベ

ルの活躍をした団体や個人に贈られる賞で、本学では過去数度の全国優勝を成し遂げている体育会フェンシング部を筆頭にこの栄誉賞

を毎年受賞している。

今回の受賞は、「第58回

全日本学生フェンシング王

を学んだことがあります。それに匹敵するほど去年は世界中

の景気が落ち込んだ。わ

うに本学学生自身が「自學自習」能力を向上させることとして、「学士力」達成の不可欠要件と考えています。

本学の建学の精神は、「国

際未来社会を切り開く社会

性と創造性、そして人類普

遍の人間的知性に富む人材

を育成」することにあります。そのため、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いています。このことによって、学生達の将来の目標に合わせた科目選択を行う力が養われていきます。また、2年

れています。

2008年度の「岐阜県民栄賞」表彰式が、2008年12月17日（水）に岐阜市の県民ふれあい会館で行われ、本学体育会から3団体が栄えある県民栄賞を受賞した。

「岐阜県民栄賞」は、

芸術やスポーツ、産業の分

野で国内、世界トップレベ

ルの活躍をした団体や個人に贈られる賞で、本学では過去数度の全国優勝を成し遂げている体育会フェンシング部を筆頭にこの栄誉賞

を毎年受賞している。

今回の受賞は、「第58回

全日本学生フェンシング王

を学んだことがあります。それに匹敵するほど去年は世界中

の景気が落ち込んだ。わ

うに本学学生自身が「自學自習」能力を向上させることとして、「学士力」達成の不可欠要件と考えています。

本学の建学の精神は、「国

際未来社会を切り開く社会

性と創造性、そして人類普

遍の人間的知性に富む人材

を育成」することにあります。そのため、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いています。このことによって、学生達の将来の目標に合わせた科目選択を行う力が養われていきます。また、2年

れています。

2008年度の「岐阜県民栄賞」表彰式が、2008年12月17日（水）に岐阜市の県民ふれあい会館で行われ、本学体育会から3団体が栄えある県民栄賞を受賞した。

「岐阜県民栄賞」は、

芸術やスポーツ、産業の分

野で国内、世界トップレベ

ルの活躍をした団体や個人に贈られる賞で、本学では過去数度の全国優勝を成し遂げている体育会フェンシング部を筆頭にこの栄誉賞

を毎年受賞している。

今回の受賞は、「第58回

全日本学生フェンシング王

を学んだことがあります。それに匹敵するほど去年は世界中

の景気が落ち込んだ。わ

うに本学学生自身が「自學自習」能力を向上させることとして、「学士力」達成の不可欠要件と考えています。

本学の建学の精神は、「国

際未来社会を切り開く社会

性と創造性、そして人類普

遍の人間的知性に富む人材

を育成」することにあります。そのため、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いています。このことによって、学生達の将来の目標に合わせた科目選択を行う力が養われていきます。また、2年

れています。

2008年度の「岐阜県民栄賞」表彰式が、2008年12月17日（水）に岐阜市の県民ふれあい会館で行われ、本学体育会から3団体が栄えある県民栄賞を受賞した。

「岐阜県民栄賞」は、

芸術やスポーツ、産業の分

野で国内、世界トップレベ

ルの活躍をした団体や個人に贈られる賞で、本学では過去数度の全国優勝を成し遂げている体育会フェンシング部を筆頭にこの栄誉賞

を毎年受賞している。

今回の受賞は、「第58回

全日本学生フェンシング王

を学んだことがあります。それに匹敵するほど去年は世界中

の景気が落ち込んだ。わ

うに本学学生自身が「自學自習」能力を向上させることとして、「学士力」達成の不可欠要件と考えています。

本学の建学の精神は、「国

際未来社会を切り開く社会

性と創造性、そして人類普

遍の人間的知性に富む人材

を育成」することにあります。そのため、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いています。このことによって、学生達の将来の目標に合わせた科目選択を行う力が養われていきます。また、2年

れています。

2008年度の「岐阜県民栄賞」表彰式が、2008年12月17日（水）に岐阜市の県民ふれあい会館で行われ、本学体育会から3団体が栄えある県民栄賞を受賞した。

「岐阜県民栄賞」は、

芸術やスポーツ、産業の分

野で国内、世界トップレベ

ルの活躍をした団体や個人に贈られる賞で、本学では過去数度の全国優勝を成し遂げている体育会フェンシング部を筆頭にこの栄誉賞

を毎年受賞している。

今回の受賞は、「第58回

全日本学生フェンシング王

を学んだことがあります。それに匹敵するほど去年は世界中

の景気が落ち込んだ。わ

うに本学学生自身が「自學自習」能力を向上させることとして、「学士力」達成の不可欠要件と考えています。

本学の建学の精神は、「国

際未来社会を切り開く社会

性と創造性、そして人類普

遍の人間的知性に富む人材

を育成」することにあります。そのため、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いています。このことによって、学生達の将来の目標に合わせた科目選択を行う力が養われていきます。また、2年

れています。

2008年度の「岐阜県民栄賞」表彰式が、2008年12月17日（水）に岐阜市の県民ふれあい会館で行われ、本学体育会から3団体が栄えある県民栄賞を受賞した。

「岐阜県民栄賞」は、

芸術やスポーツ、産業の分

野で国内、世界トップレベ

ルの活躍をした団体や個人に贈られる賞で、本学では過去数度の全国優勝を成し遂げている体育会フェンシング部を筆頭にこの栄誉賞

を毎年受賞している。

今回の受賞は、「第58回

全日本学生フェンシング王

を学んだことがあります。それに匹敵するほど去年は世界中

の景気が落ち込んだ。わ

うに本学学生自身が「自學自習」能力を向上させることとして、「学士力」達成の不可欠要件と考えています。

本学の建学の精神は、「国

際未来社会を切り開く社会

性と創造性、そして人類普

遍の人間的知性に富む人材

を育成」することにあります。そのため、法学部・経営学部においては、初年時教育の充実という観点から、1年次から基礎ゼミなど演習型、実習型の授業を導入し、自ら学ぶための技術、思考方法を学ばせることに重点を置いています。このことによって、学生達の将来の

「朝日ブランド」の確立

朝日大学 学長 大友克之



あけましておめでとうござります。謹んで新年のお喜びを申し上げますと共に、本年も皆様方によりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げま

昨年は国内外での食品安全問題により食の安全が根底から崩れ、また米国のサブプライムローン問題に端を発し、全世界が未曾有の同時金融危機に陥り、まさに混沌とした時代に突入しました。感があります。朝日大学におきましては、このような先行き不透明な時代においても、私たちの行く先を常に照らし導き続ける道のり（指標）があります。それは、「国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍的人間的知性に富む人間の育成」 という「建学の精神」であります。本学教職員一同は

存であります。一方、近年&ざましい活躍から「スポーツの朝日」とまで言われるようになりました体育会においておきましては、「文武両道」を実践し、スポーツを通じた人間教育に心血を注ぎ、本学の学生たちが社会の「宝」となれるよう、指導者と教職員が一つとなり努力してまいります。また3年後に控えた岐阜国体を成功裏に導くため、更なる競技力の向上を図ってまいります。

すばらしい教育スタッフ、高度な研究、充実した医療、そして何よりも光り輝く学生など「朝日ブランド」に

新年以来にしておめでとうございます。
皆様におかれましては、
清々しい新年を迎えた
こととお喜び申し上げます。
時代・集団を支配する考え方
が非連続的・劇的に変化し、規範、思想の枠組み
が大変動を起こし、結果として社会全体の価値観が移行する、いわゆるパラグノムシフトが全世界的に始まりました。

このことにより、政治・経済・社会が世界的な規模で大きく変動し、従来の考え方やシステムが機能しなくなるばかりでなく、今こそ大変革を行わなければ、

壯大しい未来を創造すべきときだと思います。そのには、従来の考え方や枠みを果敢に変革し、しっかりと前に向いて力強く歩むことができる若い力が求められています。

本学の建学の精神に謳う国際未来社会を切り開く、会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成こそが、世界的な喫緊の課題となっています。

私たちには、時代を先取りした素晴らしい本学建学精神を具現化することに強い誇りを持って日々邁進していくいかなくてはなりません。

若干いきなりの話ではあります。ですが、近頃、生まれき否気ものの私ですら、一ダーレスで起こりつつある諸問題が他人事ではなく、ということを肌身で感じようになって参りました。その最たるもの一つに球規模の温暖化現象があります。これは、幼少の頃から今も尚続けております。自然界が昔よりを通じて、自然現象をなくし著しく変貌つたところで体感してります。淋しい限りであります。

もう一つはボーダーレンジの経済情勢の悪化であります。

みると、その影響を殆ど
ついていないことに驚きを
感じません。これは、し
もなおさず、職場が朝日
学であることに他なりません。
どの大学も受験者の数
減少、資産の保有・運用
多くの問題を抱えて運営
苦慮している現状にあって
朝日大学の運営だけは差
的とも云え、ここに我々
安穏としていることが大
きな由縁があります。でもさ
からこそ、我々は、朝日
学をさらに飛躍させなけ
ばならないという使命をも
つて、この点について異論を唱

る者は誰一人居ないかと信じておられます。云つまでも無く、universityは多種多様に亘る専門知識や特技を持つ人々の集まりでもあります故、その飛躍の実践の道程も多種多様である筈であります。そして、それらが結集したものにUniversityにあるべき特異性に本来のスタイルの飛躍である筈であります。

今年は、それぞれに得意の分野あるいは使命とする分野で壮大な目標設定をして、その実現に向かって邁進しようではありませんか。どのような結果が出ていくかの実に楽しみであります。

さらなる磨きをかけ、マス
メディアやホームページ、
オープンキャンパスや学内
外での様々な集い等を通じ、
ご父兄、同窓生、そして地
域社会の皆様方に対し、分
かりやすい情報発信を心
けでまいります。
引き続き皆様方のご理
とご支援を賜りますよう、
願い申し上げ、新年のご
ご挨拶とさせていただきます。

パラダイムシフトに対応

朝日大学 副学長 赤石健司



009年の使命

朝日大学 副学長 竹内 宏



ん。 同時に、未来を託すことのできる若者の育成こそ、われわれ大学人の喜びなります。厳しい環境下、様

な問題に直面することもち
ります。しかし、全職員が
一つにまとまり、この喜び
かつ喜びに満ちた目的にむ
かって進んでいきましょう。

謹賀新年

森下伊三男
歯学部長(兼)經營學研究科長
事務局長
田村康夫
倉知正和
附属病院長
藤原隆
安藤
岐阜歯科診療所長
P.D.I.
菱田健治
周

経営学研究科の研究成果発信 岐阜市内で公開講演会

JR岐阜駅の「ハートフルスクエアG」において
2008年11月20日(木)・26日(水)の両日、
「第2回公開講演会」が本学大院経営学研究科の主催により開催された。

同講演会では、大学院経営学研究科の教員が日々取り組んでいる研究の成果を社会・産業界に広く発信し、地域貢献を果たすことを目的としている。

講演会の会場となつたハートフルスクエアG研修室には、仕事を終えたサラリーマンを中心に多数の受講者が集い、自身の会社での開催されました。

この表彰式は、1年生を対象に「社会と生活基礎」、「英語基礎（オーラル、リーディング）」、「情報処理基礎」の3科目（必修科目）において優秀な成績を修めた学生が各学部から選考され表彰を受ける制度で、入賞者から「みなさんは他の模範」といふべき学生としての品格を身につけ、学業成績だけではなく、リーダーシップが発揮できる人材となつてください。」との挨拶があり、出席した教職員からは拍手のエールが送られた。

この表彰式は、1年生を対象に「社会と生活基礎」、「英語基礎（オーラル、リーディング）」、「情報処理基礎」の3科目（必修科目）において優秀な成績を修めた学生が各学部から選考され表彰を受ける制度で、入賞者から「みなさんは他の模範」といふべき学生としての品格を身につけ、学業成績だけではなく、リーダーシップが発揮できる人材となつてください。」との挨拶があり、出席した教職員からは拍手のエールが送られた。

表彰式では、大友克之学長から成績優秀者へ賞状が授与された

大友学長から成績優秀者へ賞状が授与された

今後も、地域社会・産業界への貢献の一翼を担う本学大学院経営学研究科からの「情報発信」に期待しよう。

「税法の特別講義」開催

法学院では、2008年11月13日(木)に名古屋国税局課税第二部長千葉俊徳氏を講師に迎え「IT化・国際化と税・税務行政の現状と課題」と題した特別講義を開催した。

この講義は、国税局(国税局)の「税を考える週間(11月11日～17日)」の広報活動の一環として行われたもので、本学での開催ははじめてのことである。

大友学長から建学の精神・教育目標が語られる

他の学生の「模範」となれ

成績優秀者表彰式

△最優秀賞▽

法学科 高田 晨清

2名

「2008年度基礎教育科目成績優秀者表彰式」が、2008年12月10日(水)に本学穂積キャンパス5号館講義室で行われた。

この表彰式は、1年生を対象に「社会と生活基礎」、「英語基礎（オーラル、リーディング）」、「情報処理基礎」の3科目（必修科目）において優秀な成績を修めた学生が各学部から選考され表彰を受ける制度で、入賞者から「みなさんは他の模範」といふべき学生としての品格を身につけ、学業成績だけではなく、リーダーシップが発揮できる人材となつてください。」との挨拶があり、出席した教職員からは拍手のエールが送られた。

表彰式では、大友克之学長から成績優秀者へ賞状が授与された

大友学長から成績優秀者へ賞状が授与された

今後も、地域社会・産業界への貢献の一翼を担う本学大学院経営学研究科からの「情報発信」に期待しよう。

この講義は、国税局(国税局)の「税を考える週間(11月11日～17日)」の広報活動の一環として行われたもので、本学での開催ははじめてのことである。

大友学長から建学の精神・教育目標が語られる

は、学生、父母及び大学の三者が共通の理解と認識の下「将来の歯科医師」をめざすため、毎年「教育懇談会」を実施している。

また、両日の午後からは、会場を8階に移し「三者面談」を実施、それぞれ2名の教員が配置された面談室では、父母と教員とが学生

と交え、これまでの学習成績と今後の取り組み等について個別に面談を行い「将来の歯科医師への道のり」を三者で確認しあつた。

結果

を及ぼす。

細な説明・報告があり、出席した父母たちはメモを取りつつ熱心に耳を傾けていた。

懇談会終了後には、歯学部教育後援会主催の「懇談会」が催され、参加者たちが昼食をとりつつ本学関係者との懇談・懇親を深めていた。

また、両日の午後からは、会場を8階に移し「三者面談」を実施、それぞれ2名の教員が配置された面談室では、父母と教員とが学生

と交え、これまでの学習成績と今後の取り組み等について個別に面談を行い「将来の歯科医師への道のり」を三者で確認しあつた。

結果

を及ぼす。

細な説明・報告があり、出席した父母たちはメモを取りつつ熱心に耳を傾けていた。

懇談会終了後には、歯学部教育後援会主催の「懇談会」が催され、参加者たちが昼食をとりつつ本学関係者との懇談・懇親を深めていた。

また、両日の午後からは、会場を8階に移し「三者面談」を実施、それぞれ2名の教員が配置された面談室では、父母と教員とが学生

と交え、これまでの学習成績と今後の取り組み等について個別に面談を行い「将来の歯科医師への道のり」を三者で確認しあつた。

結果

を及ぼす。

細な説明・報告があり、出席した父母たちはメモを取りつつ熱心に耳を傾けていた。

懇談会終了後には、歯学部教育後援会主催の「懇談会」が催され、参加者たちが昼食をとりつつ本学関係者との懇談・懇親を深めていた。

結果

を及ぼす。

細

本学マーケティング研究所では、一宮市（愛知県）からの委託により、一宮本町商店街をはじめ同市内で商売を営む者を対象とした「一宮あきんど講座」（一宮市経営合理化促進講座）を開催した。講座は隔週火曜日午後7時から開講し、同研究所の鈴木博道所長（経営

本学マーケティング研究所では、一宮市（愛知県）からの委託により、一宮本町商店街をはじめ同市内で商売を始める者を対象とした「一宮あきんど講座」（一宮市経営合理化促進講座）を開催された。この集いは、本学国際交流委員会が主催し毎年開催している行事で、今年も立内）で2008年11月26日（水）に開催され、約150名が参加し相互の理解・親睦を深めた。

「あきんど講座」を開催

一宮市「経営合理化促進講座」

大学院で学ぶ外国人留学生、大学・大学院への進学をめざす留学生別科生及び本学の教職員・

学生らが参加した「2008年度朝日大学国際交流の集い」が、大垣フォーラムホテル（大垣市内）で2008年11月26日（水）に開催され、約150名が参加し相互の理解・親睦を深めた。

相互理解・親睦を深める

「国際交流の集い」を開催する本学の学部や大学院で学ぶ外国人留学生、大学・大学院への進学をめざす留学生別科生及び本学の教職員・

学生らが参加した「2008年度朝日大学国際交流の集い」が、大垣フォーラムホテル（大垣市内）で2008年11月26日（水）に開催され、約150名が参加し相互の理解・親睦を深めた。

この集いは、本学国際交流委員会が主催し毎年開催している行事で、今年も立内）で2008年11月26日（水）に開催され、約150名が参加し相互の理解・親睦を深めた。

この集いは、本学国際交流委員会が主催し毎年開催している行事で、今年も立内）で2008年11月26日（水）に開催され、約150名が参加し相互の理解・親睦を深めた。

食による懇親・懇談が行われ、留学生と教職員たちが笑顔で談笑し交流を深めた。

また、恒例となったプレゼント抽選会では、当選者が発表されるごとに大きな歓声があがり会場内の雰囲気をより一層盛り上げていた。

留学生たちが朝日大学で充実したキャンパスライフを送り、将来、国際交流の架け橋となる人材に育つことを期待する。



ピンポンで賞品をゲット

企業が求める 人材とは

早期就職支援が スタート

本学穂積キャンパス6号館大講義室で、法学部及び

経営学部の学生を対象とした「企業と人材」講演会が2008年10月29日（水）に開催された。

同講演会は、文系学部の学生が入学時から4年後を見据え「職業観」や「就職意識」を身につけることを目的に、早期就職支援の一環として、毎年開講している講演会である。

今回の講師には、独自のエンジンを開発し国内をは

を中心に何度も質問を繰り返していた。

今回で4回目を迎えたこの講座の受講生はすでに50名（店舗）を超えて、これまでに指導を仰いだ商店店主たちが順調に成果を上げているとの声も聞かれた。

朝日大学マーケティング研究室においては、講演、セミナー、店舗指導などを通じて地方公共団体、地元商店街との連携をさらに深める取り組みを進めている。

じめ世界各国へ販売網を広げている岐阜スバル自動車（株）の代表取締役社長内田良一氏を招聘し、「企業の求める人材とは」をメインテーマに講演が行われた。

講演では、「社会人は、常に光輝きとして人材から人財をめざせ！」とスバルのエンジン音の如くパワフルなアドバイス、また、取締役社長を務める自社での採用活動を通じた企業が求められる学生像、企業の社会貢献の在り方などが熱く語られた。出席した200名近い

事となっている。

会は、別に開催されている「O.B・先輩によるアドバイス講座」と共に、学生にとって心強い就職支援の行

事となっている。

学生たちは目を輝かせ熱心に講演に耳を傾けていた。

この「企業と人材」講演

は、別に開催されている

「O.B・先輩によるアドバ

イス講座」と共に、学生に

とって心強い就職支援の行

事となっている。

学生たちは目を輝かせ熱心に講演に耳を傾けていた。

この「企業と人材」講演

</

「学友会表彰式」が行われる

功績顯著な学生を表彰

2008年度前学期学友会表彰式が、2008年10月25日(土)に「朝日祭」オーブニングセレモニーにて行われた。

同表彰式は、学友会活動において功績顯著な学生に対し「学友会長賞、学友会長奨励賞」を授与するもので、前学期・後学期の年2

学祭に訪れた方々からも暖かい拍手が贈られた。
受賞者の今後の活躍が益々楽しみである。

回表彰が行われている。今回は過去最高の受賞件数を数え、会長賞は6団体24個人、奨励賞は1団体17個人に贈られた。

表彰式では、山本英弘学

生部長(学友会会长)から賞状と副賞がそれぞれ学生に授与された。当日は曇り空の天気ではあったが、大

「第58回関西学生フェンシング選手権大会」が、2008年10月21日(火)～26日(日)に大山崎町体育馆(京都府)で開催された。

は、朝日大学勢で初の優勝を勝ち取った安部芳隆(経営4年)と家永妃里(ビジネス2年)、そして、フル

ーレ女子団体、エペ女子個

人・団体、サーブル女子個

人・団体と各種目において成績に輝いた。この結果フ

ェンシング部女子は「全6

種目制覇」という史上初の偉業を達成した。なお、全

日本学生フェンシング選手

権大会でも、女子エペ、サ

ーブル団体準優勝に輝いた。

本学体育会ハンドボール

部ブルーハンターズは、大

同工業大学体育馆(愛知県)

で行われた東海学生ハンド

ボール秋季リーグ(3部)

において、リーグ優勝をか

け全勝対決となった最終戦

で、リーグ復帰の強豪校愛

知学院大学(元1部リーグ

所属)を撃破しみごと全勝

でリーグ優勝を果たした。

優勝に大きく貢献した選手

に贈られる「最優秀選手」

には名嘉哲平(ビジネス企

画1年)が選ばれた。

2008年4月創部のル

ーキーチーム、ブルーハン

ターズは初参戦の東海リ

グを春季(4部)に統いて

秋季(3部)も全勝で制覇

し、滋賀大学(2部8位)

とのリーグ入れ替え戦に望

み、41対13のトリプルスコ

アで勝利しみごと2部リ

ーへの昇格が決まった。

今春には新入生を迎える

手順が着実に厚くなるブル

ーハンターズ、東海リーグ

(2部)での活躍が望まれ

る。

年末に沖縄で強化合宿を行った体育会自転車競技部、

さらなる「進化」を遂げる

であろう。

2008年11月3日(土)

に日本CSC(静岡県)でア

テネ五輪TSP銀メダル獲

得」を記念し大会がスター

トした「全日本チーム対抗

自転車競技大会」でも、横

関裕樹(ビジネス企画2年)

が1kmTTで優勝するなど

3種目で3名が入賞した。

新人戦「優勝」のチームスプリント

で開催された「第44回全日

本学生自転車競技新人戦・

西日本大会」に出場、7種

目の競技で競われた新人戦

で「西日本インカレ3連覇」

県の代表として出場した部

で、大分県別府競輪場

で開催された「第63回国民

体育大会」では、各都道府

リシク)が酌み交わされた。

友克之学長が挨拶、岐阜県

正史室長による乾杯(発

生で一斉に祝杯(ソフトド

リンク)が酌み交わされた。

からかはスポーツ健康課(国

体競技力向上室)の羽田野

健司副学長による乾杯の発

生で、赤石

が述べられ、その後、赤石

が祝賀会では、はじめに大

年目にして悲願の「初優勝」

を飾った本学体育会卓球部

の栄誉を讃え、優勝祝賀会

が2008年11月5日(水)

に本学穂積キャンパス内の

7号館ホール「花水木」に

おいて盛大に開催された。

祝賀会では、はじめに大

年目にして悲願の「初優勝」

を讃え、優勝祝賀会

が2008年11月5日(水)

インターンシップの成果発表

お客様を大切に

ヤンパス6号
本学穂積キ
館大講義室で
2008年11月
19日(水)に「イ
ンターンシップ
成果報告会
2008」が岐
阜県インター
ンシップ推進協議
会の主催により
開催された。
会場となつた
講義室には、イ
ンターンシップ
受け入れ企業の

担当者や、先輩たちの体験談を参考にしようとした岐阜県内の学生ら約300名が熱心に発表に聞き入っていた。報告会では、インターンシップを行った本学学生5名を含む大学生ら14名が、それぞれ企業や官公庁での職場体験で学んだことを具体的な業務内容や失敗談を交じながら語り、「実社会では、お客様を大切にすることが最も重要なこと」を学ぶことができた。」などと成果が報告された。

また、報告会に先立ち本

報告会終了後には「懇親・座談会」も開催され、インターンシップに関する情報交換などがさかんに行われた。

員を対象とした本学産業情報研究所主催の研究会が、2008年11月14日(金)に本学穂積キャンパス6号館講義室で開催された。

本研究会で講師を務めた松田幸夫氏(奈良県立大学客員教授)は、地域創造(地域を元気づける)の主役は「人」と位置づけた上で、大垣をはじめとして全国各地での成功事例を紹介し、地域創造を考えるキーワードとして、「常識を変える・見方を変える・発想を変える等により地域が変わること

第38回 朝日祭 「BIG」な3日間

朝日祭が第38回

「感性」が惜しみなく発揮される、そのパワーがあらゆる年齢層の人々に大きな活力をもたらし、朝日祭が実り多きものとなるようとにかく実行委員会ほか関係者の想いが込められている。

そんな想いが込められた学園祭、期間中には、クラスやサークルによる模擬店ゲームコーナーや茶席が出店し、特設ステージ等では大ビンゴ大会、美人仮装コンペント、西陵高校ダンス部によるダンスショー、学内大ホールでは、吹奏楽部、

榮さんはこれまでにも同大会の高校生部門や愛知県私学弁論大会などでの入賞経験をもつ。今回の発表では「世界」平和なはずの国で」と題し、昨年6月に東京秋葉原で起きた事件を例に、現代社会に潜む若者の問題について論じ、「今家庭で、社会で何が必要か」を訴えた。

すキャンパスライフで得た
学問・友人は、将来の人生
の糧としてきっと生かされ
るであろう。

入する3年生を前に、
2008年11月12日(水)
岐阜車体工業(株)社長の中谷
克彦氏を講師に招き「モノ
づくりにおける人材育成」
と題した講演、本学就職課
導委員長の栗原和夫教授

ら就職活動体験談の講演がなされ、「面接は採用か否かの分かれ目。不安なのは誰でも一緒、自分という商品

ど、就職活動を通して自分
が気づいたこと、感じたこ
となどを後輩たちに詳しく
そして、熱く語った。

た。なお、講座終了後には、先輩たちとの懇談・懇親会も開催され、職業意識・就場者でにぎわった。

今回のテーマ「BIG」には、若者の特権である「情

たり穂積キャンパスで開催、趣向を凝らした様々な催しが繰り広げられ、多くの来場者でにぎわった。

軽音楽部や人気バンドによるコンサートなどが終日にはわたり繰り広げられ、学生はもとより地域の幼児からお年寄りまで幅広い層が樂しみ大いに活力を吸収した



ステージで「休憩

全国青年弁論大会で入賞!!

現代社会に潜む問題に焦点

本学歯学部1年の榮宏太

この様に社会に常に目を

義室で「就職体験記」を発表した。

を売り込め!』と自己体験

今回アドバイスを行った先輩たちも、最初から完璧に迫った就職活動に向かう意欲の高い3年生たちは、間近に迫った就職活動に向かって、より一層意欲を高めています。